

保全工事共通仕様書準拠

## ベンリーRLモルタル

保全工事共通仕様書UR都市機構（平成20年版）別冊  
機材及び工法の品質判定基準「速硬軽量モルタル」適合品

【 標 準 施 工 要 領 書 】

平成 22 年 11 月 1 日



二瀬窯業株式会社  
本社工場

## ベンリーRLモルタル施工要領書

### 1. 適用範囲

ベンリーRLモルタル（速硬軽量モルタル）は、断面修復用ポリマーセメントモルタルです。断面修復用ポリマーセメントモルタルは、コンクリート中の鉄筋腐食によるコンクリートのひび割れ、浮き、剥離等の劣化現象に対し、鉄筋をはつり出して欠損の埋め戻しを行う工事に用いられる材料で、鉄筋腐食補修工法に適用されています。この材料は、UR都市機構に適合し、セメント、骨材（細骨材）、特殊混和材を合理的に調合したプレミックスタイプであり、ベンリーRLモルタル用混和液と所定の水を添加、混練りするだけで使用できます。

### 2. 特長

- ①コンクリート、モルタルの欠陥部補修用のポリマーセメントモルタルです。
- ②軽量モルタルで速硬性を有する為、作業性が良く工期短縮に貢献します。
- ③粉体と混和液とをセットにした使いやすい荷姿で、混練は、専用混和材と水道水だけでよく調合ミスがありません。

### 3. 用途

|        |                                 |
|--------|---------------------------------|
| 荷姿     | 16.5kg/セット（粉体 15 kg、混和液 1.5 kg） |
| 適用部位   | コンクリート欠損部、モルタル欠損部               |
| 適用下地   | コンクリート、モルタル                     |
| 適合仕上げ  | 仕上げ塗材、陶磁器質タイル等                  |
| 標準調合   | 粉体：15kg 混和液：1.5kg 清水：1.5～1.7L   |
| 塗厚     | 10～30mm                         |
| 標準施工面積 | 1.1m <sup>2</sup> /セット（10mm厚）   |

### 4. 施工方法

#### <下地の準備>

下地の脆弱層及び突起物、レイタンス、油分、硬化不良、汚れ等の部分は、ケレン棒又は、ワイヤーブラシ、サンダー掛け等で除去し、下地面の清掃または高圧洗浄を行って下さい。また、鉄筋が露出して発錆している場合はスクレッパー、ワイヤーブラシ、研磨紙等で錆を除去してください。

※浮き、剥離の原因となりますので、下地の清掃は入念に行ってください。

※鉄筋の発錆を伴う欠損部の場合には、水洗いをさけ、ブローア一等を用いて清掃してください。

#### <下地の処理>

乾燥後、ベンリーメンテペーストを刷毛等でむらなく塗布してください。

※下地への吸水が激しく刷毛塗り作業性が悪い場合は、ユニレックス 3（原液）を水道水にて 5 倍に希釈したものを塗布して吸水調整を行って下さい。

#### <ベンリー R L モルタルの混練>

ベンリー R L モルタルの混和液 (1.5 L) と所定量の水 (1.5~1.7kg) を容器に入れ、粉体 (15kg) を徐々に加えながらハンドミキサー等で十分に練り混ぜて下さい。

※強度低下の原因となりますので粉体と混和液及び水の調合割合は厳守してください。

練置きは夏期 15 分以内 冬期 25 分以内とし、練足し、水を加えての練り戻しは避けてください。

#### <ベンリー R L モルタルの塗付け>

ベンリーメンテペースト塗布後、ベンリー R L モルタルをジャンカ部や欠損部分にコテをかけて充填してください。

※ベンリーメンテペースト塗布後、製品充填までの工程間隔は、夏期 3 時間以上 冬期 6 時間以上を目安としてください。

※ダレ、割れの原因となりますので、1 回の塗厚は標準仕様の塗厚を厳守してください。

※標準仕様の塗厚をこえる場合は、2 回以上に分けて塗りつけてください。その際の工程間隔は 2 時間程度を目安としてください。

※壁で深さ 30mm 以上あるいは 0.1mm<sup>2</sup> 以上、または上げ裏施工の場合は、ステンレスアンカーピン・ステンレス線を併用してください。

※速硬軽量タイプの欠損部補修材ですので、欠損部以外の施工は避けてください。

#### <ベンリーメンテペーストによる表面処理>

ベンリー R L モルタルを施工後(5 時間以上経過)充填部と周辺の既存モルタル、既存コンクリートの境界面に幅 150mm(目地振分け 75mm)にわたってベンリーメンテペーストを刷毛で塗布してください。

※ひび割れの原因となりますので、標準仕様の塗厚を厳守してください。

#### <養生>

通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生を行ってください。また、施工後、降雨、降雪のおそれがある場合も、シート掛け等の養生を行ってください。

※強度が出ないおそれがあるため、通風や直射日光により塗付け面の乾燥が厳しい場合には、塗付け翌日以降に散水養生を行ってください。

※初期の雨掛等は、強度不足・白華(イワシヤク)の原因となりますので、シート掛け等の養生を行ってください。白華した場合には水洗い等により除去してから、次工程の作業を行ってください。

※仕上げ材の素地こしらえ等の次工程までの養生は、夏期 1 日以上 冬期 2 日以上おこなってください。

## 5. 注意事項

- ①施工前に補修面を十分に水洗い・清掃してください。
- ②材料の保存は、地面や床へ直置きしないようパレット等使用して湿気を避け、直接日光や雨が掛らないようシート掛けなどを施してください。
- ③降雨・降雪時の施工は行わないでください。
- ④気温 3℃以下及び 3℃以下になると予想される場合は、施工は行わないでください。
- ⑤固くなったモルタルへの再加水は行わないでください。
- ⑥固まったものの使用は避けてください。
- ⑦ベンリーRLモルタルには混和液、練水の他、弊社が特に指定するもの以外は混入しないでください。
- ⑧ベンリーRLモルタル硬化前の雨水等による漏れは、白華(エフロレッセンス)の原因となりますので注意してください。
- ⑨ベンリーRLモルタルの品質保持期間は製造後 3 ヶ月です。